



一般社団法人 日本病理学会
〒113-0034
東京都文京区湯島1-2-5
聖堂前ビル7階
TEL: 03-6206-9070
FAX: 03-6206-9077
E-mail: jsp-admin@umin.ac.jp
http://pathology.or.jp

一般社団法人日本病理学会

第387号

令和2年(2020年)7月刊

1. 第111回(令和4年度)総会における宿題報告担当者の募集について(公募)

第111回(令和4年度)日本病理学会における宿題報告担当者を下記の要領により、募集いたします。尚、担当者には「日本病理学賞」が授与されます。

- 1) 応募資格: 日本病理学会学術評議員
(ただし昭和31年4月1日以降生まれの者)
- 2) 募集人員: 3名以内
- 3) 提出書類:

※昨年度より、応募書類は以下をPDF化した電子媒体(すべての書類をひとつのPDFファイルとしてつけたもの)にて提出していただくことになりました。

- (1) 所定の書式に、応募者名、演題名、選考用抄録(1,100字以内)などを記載し、自署押印したもの。書式はHPよりダウンロードしてください。

参照HP:

<https://pathology.or.jp/news/whats/advertise-shukudai-200630.html>

- (2) 講演内容に直接関係のある自著論文50編以内の一覧
- (3) 上記自著論文一覧の中から代表的な自著論文10編以内の別刷

上記(1)~(3)の書類を、順番にひとつのPDFファイルにつなげてお送り下さい。

* (3)の別刷をつけた業績のあたりに「○」印をつけて下さい。

* ひとつのフォルダ内に複数のPDF化した書類を入れて提出されたものはお受け取りできません。

4) 提出先と提出方法

提出先: 日本病理学会事務局 jsp-admin@umin.ac.jp

- (1) 応募書類送付の前に、応募申請のE-mailをお送り下さい。

- ① E-mailの件名として「令和4年度宿題報告応募申請」とし、その後ろにご自身の会員番号も記載して下さい。
- ② 応募書類送付の方法(下に示すア~オのいずれか)と1.送信予定日時、2.氏名、3.所属(教室名まで正式名称を)、4.演題名を記載して下さい。

ア) メール添付 ただし5MBまで

イ) UMINファイル交換システム

<https://www.umin.ac.jp/upload/>

病理学会事務局ID: jsp-admin

ウ) 民間の大容量ファイル転送サービス
(「データ便」等)

エ) USB、CD-ROM等の郵送送付

オ) その他のデータ提出方法

(具体的に記載して下さい。)

- (2) 上記(1)の申請メール送信後、応募書類(すべての書類をひとつのPDFファイルにつなげたもの)をPDF電子媒体として申請した方法にて送付してください。

- ① 件名・表題等は「令和4年度宿題報告応募書類送付」として、その後ろにご自身の会員番号を記載して下さい。

- ② ファイル受領から「業務日」3日以内に受領メールを返信いたします。受領のメールが届かない場合は、すみやかに事務局宛にお問い合わせ下さい。

- ③ 各種連絡や審査用資料の作成については、会員システム登録の情報を元に行われます。事前に登録内容の確認、修正をお願いします。

5) 締め切り: 令和2年8月31日(月)23:59必着

なお、第111回日本病理学会における宿題報告担当者は、令和2年秋の学術委員会において厳正・公明に選考し、同年11月の理事会審議にて決定後、社員総会にて公表いたします。また、担当者には以下のご依頼をさしあげますのでご承知置き下さい。

- ① “Pathology International”への総説論文の執筆
- ② 発表抄録の日・英両言語での作成
- ③ 「病理学の研究でわかること」

(<https://pathology.or.jp/ippan/info-trans.html>)の原稿作成本件につきましてご質問がありましたら、日本病理学会事務局または学術委員長までお問い合わせください。

日本病理学会事務局: jsp-admin@umin.ac.jp

TEL 03-6206-9070 FAX 03-6206-9077

学術委員長(落合淳志):

TEL 04-7134-6880 aochiai@east.ncc.go.jp

2. 第67回（令和3年度）日本病理学会秋期特別総会における病理診断特別講演担当候補者の公募について

標記担当者を公募いたします。下記の要領にてご応募をお願いいたします。

病理診断特別講演とは：

「病理診断特別講演」は、特定の疾患や臓器における病理診断に関して、本学会に永年にわたって貢献し、その専門に卓越した業績と見識をもつ本学会員が担当し、担当疾患の病理診断に関して主として解説的に講演する。「病理診断特別講演」担当者には、「病理診断学賞」が授与される。

応募書式：※昨年度より、応募書類は以下をPDF化した電子媒体（すべての書類をひとつのPDFファイルとしてつなげたもの）にて提出していただくことになりました。

- 1) 所定の応募書式に応募者名、略歴、活動・功績、課題名、応募理由（1,000字以内）等を記載したもの。書式はHPよりダウンロードしてください。

参照HP：

<https://pathology.or.jp/news/whats/koubo-200630.html>

※書式はWord形式です。全体が適切な形で2ページ以内に収まるよう配慮して下さい。

- 2) 応募理由に関する論文・著書業績（20編以内）のリスト

上記1), 2)の書類を、順番にひとつのPDFファイルにつなげてお送り下さい。

*ひとつのフォルダ内に複数のPDF化した書類を入れて提出されたものはお受け取りできません。

提出先：日本病理学会事務局 jsp-admin@umin.ac.jp

提出方法：

- ① 応募書類送付の前に、応募申請のE-mailをお送り下さい。
 - i) E-mailの件名として「令和3年度病理診断特別講演応募申請」とし、その後ろにご自身の会員番号も記載して下さい。
 - ii) 応募書類送付の方法（下に示すア～オのいずれか）と1.送信予定日時、2.氏名、3.所属（教室名まで正式名称を）、4.演題名を記載して下さい。
 - ア) メール添付 ただし5MBまで
 - イ) UMINファイル交換システム
<https://www.umin.ac.jp/upload/>
病理学会事務局ID：jsp-admin
 - ウ) 民間の大容量ファイル転送サービス（「データ便」等）
 - エ) USB、CD-ROM等の郵送送付
 - オ) その他のデータ提出方法（具体的に記載して下さい。）
- ② 上記①の申請メール送信後、応募書類（すべての書類をひとつのPDFファイルにつなげたもの）をPDF電子媒体として申請した方法にて送付し

てください。

- i) 件名・表題等は「令和3年度病理診断特別講演応募書類送付」として、その後ろにご自身の会員番号を記載して下さい。
- ii) ファイル受領から「業務日」3日以内に受領メールを返信いたします。受領のメールが届かない場合は、すみやかに事務局宛にお問い合わせ下さい。
- iii) 各種連絡や審査用資料の作成については、会員システム登録の情報を元に行われます。事前に登録内容の確認、修正をお願いします。

3) 締め切り：令和2年8月31日（月）23:59必着

選考：担当者は令和2年秋の学術委員会において厳正・公明に選考し、同年11月の理事会審議にて決定後、社員総会にて公表いたします。

その他：担当者には“Pathology International”への総説論文の執筆をいただきますのでご承知置き下さい。

本件につきましてご質問がありましたら、日本病理学会事務局または学術委員長までお問い合わせください。

日本病理学会事務局：jsp-admin@umin.ac.jp

TEL 03-6206-9070 FAX 03-6206-9077

学術委員長（落合淳志）：

TEL 04-7134-6880 aochiai@east.ncc.go.jp

3. 新型コロナウイルス感染拡大影響下における病理専門医研修緩和策について

昨今の新型コロナウイルス感染症拡大の影響で病理解剖数が激減しております。このような状況のもと、研修指導医や専攻医から専門医試験受験資格要件である剖検30体の症例数の緩和に関する要望が相次いで病理学会事務局に寄せられました。

これをうけ、5月11日に開催された病理専門医制度運営委員会において以下緩和策を提案し、日本病理学会理事会、日本専門医機構にて承認されましたのでご案内申し上げます。

【新型コロナウイルス感染拡大影響下における病理専門医研修緩和策】

・令和3年度病理専門医試験新規受験者は、従来の解剖30体の受験要件を「死体解剖資格取得時に申請した20体で認める」こととする（20体措置対象年）。

・旧制度で研修をしている者についても、40体必要とされる場合には30体を受験要件とする。

・令和3年度の専門医試験合格者については、5年後の更新までに、これまでの病理解剖10体（主執刀または指導）に加えて、新たに「剖検講習会を1回受講する」こととする。なお、更新における剖検講習会の受講については、令和3年度合格者すべてに適用することとし、20体ではなく、従来の受験要件である30体をすでに経験している合格者についても、更新時までに剖検講習会を1回受講することとする。

・今年度（令和2年度）に不合格となった場合、次年度（令和3年度の「20体措置対象年」）の再受験の際は、従来の受験資格と同様、30体（死体解剖資格認定20体プラス10体）とする。同様に今年度以前に不合格となり次年度に再度受験する際も、従来の受験資格と同様とする。

・令和3年度「20体措置対象年」に不合格となった場合、「20体措置解除後」の再受験申請の際は、従来の受験資格と同様、30体（死体解剖資格認定20体プラス10体）とする。

なお、この措置は、原則、令和3年度受験にとどめ、令和4年度以降については病理解剖数の状況のみをみて改めて議論いたします。

参照 HP: <https://pathology.or.jp/senmoni/senmoni/20200701.html>

4. 第14回診断病理サマーフェスト オンライン (Web) 開催のご案内

第14回診断病理サマーフェストは、診断病理サマーフェスト委員会にて鋭意準備を進めてまいりましたが、昨今の新型コロナウイルス（COVID-19）流行状況を鑑み慎重に協議した結果、当初予定しておりました2020年9月5日、6日の神戸での開催は中止し、オンライン（Web）開催することに変更いたしました。

病理学会としても、例年通り現地開催し、講師と受講者との活発な質疑応答により、病理と臨床の対話を深めていただきたいと考えていましたが、緊急事態宣言解除後も東京をはじめ全国的な感染者数の増大傾向が続いております。このような事情から、受講者、講師をはじめ関係者の健康を第一に考え、現地開催を断念し、オンライン（Web）開催に変更する次第であります。どうか、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

Web配信は、10月3日（土）から11月3日（火・祝）までの期間に、オンデマンド形式といたします。合わせて、事前申し込みの締め切りを9月15日（火）までに延長いたします。困難な状況ではありますが、鋭意準備しておりますので、ぜひこの機会に奮ってご参加ください。詳細につきましては、運営事務局より参加登録いただいた皆様・関係各位宛に、メールにてご連絡させていただきます。

詳細は下記 HP よりご確認ください。

参照 HP:

<https://pathology.or.jp/news/summerfest-200302.html>

5. 病理専門医研修カリキュラム制について

研修カリキュラム基準が日本専門医機構より承認されましたのでご案内申し上げます。研修カリキュラム制度においては、病理学会が定めた必要単位数を取得し、経験すべき症例の経験数を満たし、プログラム制と同等の試験を合格することで、専攻医は専門医認定を受けられるものとします。2018年度以降は、カリキュラム制度での研修実施者についても日本専門医機構へ専攻医登録する必要がござ

いますのでご注意ください。また、日本病理学会への研修登録も必要です。プログラム制での専攻医登録者は、カリキュラム制へ変更を希望する場合、日本病理学会と日本専門医機構の承認を得る必要がございます。

詳細は下記 HP よりご確認ください。

参照 HP:

<https://pathology.or.jp/senmoni/curriculum.html>

6. 病理専門医更新基準・様式（2020.6.19改定版）掲載のご案内

病理専門医更新の移行期間終了に伴い、更新基準・様式が改定されました。生涯学習サイトへ掲載いたしましたのでご確認ください。

ログインには病理学会権限の付与された UMIN ID と PW が必要です。

参照 HP:

<https://e-learning.pathology.or.jp/course/view.php?id=41>

お知らせ

1. 【周知依頼】再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行規則等の一部を改正する省令の施行について

標記の件につき、厚生労働省医政局研究開発振興課長より周知依頼がありました。

関連 URL は下記の通りです。

<https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/000644299.pdf>

2. 2020年度「朝日賞」候補者推薦について

標記の件につき本学会からの推薦を希望される会員は、下記財団の HP を参照の上、8月15日までに本学会事務局宛ご連絡下さい。

照会先: 朝日新聞文化財団

参照 HP:

<http://www.asahi.com/shimbun/award/asahi/>

3. 第42回（令和2年度）「沖縄研究奨励賞」候補者推薦について

標記の件につき本学会からの推薦を希望される会員は、下記財団の HP を参照の上、8月31日までに本学会事務局宛ご連絡下さい。

照会先: 公益財団法人沖縄協会

参照 HP:

<http://www.okinawakyoukai.jp/>

4. 公益財団法人風戸奨励会より

(1) 第14回(令和2年度)「風戸賞」公募

応募資格: 満45歳以下の研究者

応募締切: 令和2年10月16日(金)必着

(2) 第14回(令和2年度)「風戸研究奨励賞」公募

応募資格: 満35歳以下の研究者

応募締切: 令和2年12月4日(金)必着

(1), (2)ともに詳細はHPをご参照ください

共通HP: <http://www.kazato.org/>

連絡・問い合わせ: (公財)風戸研究奨励会 事務局

TEL: 042-542-2106

E-mail: kazato@jeol.co.jp

5. 第2回小林賞受賞候補者の推薦について

本学会からの推薦を希望される場合は下記を確認の上9月1日までに学会事務局宛ご連絡下さい。

1) 対象者: 医学, 薬学, 農学, 工学, 理学などの生命科学に関する分野において, 独創的な研究を行い, 顕著な成果を挙げ, さらにその後も当該研究分野の発展が期待される国内の研究者を対象といたします。但し, 文化勲章受章者, 文化功労者, 日本学士院賞受賞者は, 小林賞の対象にはなりません。

2) 推薦者: 小林賞の推薦は, 次に依頼いたします。

(1) 本財団より推薦依頼を受けた学会等の長

(2) 本財団より推薦依頼を受けた大学の各学部及び

研究機関の長

3) 推薦件数: 1推薦者(1学会・1機関)から1件とします。

4) 推薦方法: 推薦人は, 推薦書に必要事項を記入し, 署名・捺印の上, 本財団宛て送付してください。

5) 推薦期間: 2020年7月21日(火)から9月18日(金)

6) 選考方法: 本財団に設置する選考委員会において選考し, 理事会で決定いたします。

7) 選考結果の通知: 選考結果は, 令和3年2月上旬に, 推薦人及び本人に文書で通知します。

8) 小林賞の贈呈: 小林賞の贈呈式は令和3年3月29日(月)に開催いたします。1賞につき, 賞状, 賞牌および副賞3,000万円を贈呈(1件)。なお, 受賞者には, 受賞の対象となった研究に関する記念講演をしていただきます。

9) 提出書類等

(1) 推薦書(和文又は英文)オリジナル1部, コピー10部

(2) 主要文献5篇の別刷 各1部及び電子媒体各1部(推薦書の「主要となる文献リスト」に○印を付した文献5篇)

10) 推薦書提出先及び問い合わせ先:

公益財団法人小林財団東京事務所

〒106-0032 東京都港区六本木1-7-27

全特六本木ビル East 5F

TEL: 03-5575-7525 FAX: 03-3505-537

E-mail: info@kisf.or.jp

2020年 IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞の公募

下記の要領にて 2020 年 IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞を公募いたします。

記

賞の名称：IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞

応募資格：日本の医療機関に勤務する若手（論文掲載時 40 歳未満）の病理医。IAP 日本支部の会員か否かは問わないが、会員であることが望ましい。

選考対象：2019 年 1 月から 12 月の間に雑誌に公表された診断病理分野における優れた英文論文、1 編。E-pub は含まない。但し、留学先での仕事ではなく日本での仕事のみ。筆頭著者を原則とする。

受賞者数：3 名以内

賞の内容：賞状と副賞（トロフィー）

応募方法

他薦、自薦ともに可とするが、他薦を原則とする。

申請時に必要なもの：

1. 応募者の履歴書（JIS 版）
2. 推薦書（推薦人がある場合）ないし、応募理由書（推薦人がいない場合） A4 用紙 2 枚以内。書式は問わない。
3. 論文の別刷 7 部（1 部はオリジナル、他はコピー可）。PDF の場合はカラーコピー 7 部（PDF ファイルでなく、書類を提出）

応募の締切：2020 年 8 月 31 日（当日の消印有効）

宛 先：〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1

愛知医科大学病院病理診断科気付

IAP 日本支部名古屋事務局

「IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞」選考委員会 宛

選考方法・発表

IAP 日本支部が指名する「IAP 日本支部・病理診断学術奨励賞」選考委員会（日本病理学会、日本臨床細胞学会からの外部委員も参加）において選考する。なお、受賞者の表彰は賞状と副賞（トロフィー）の発送をもってかえさせていただく。また、受賞者を IAP 日本支部の News Bulletin 紙上で公表する。

以上



2020年 IAP 日本支部 病理学教育セミナーのお知らせ IAP 日本支部主催・日本病理学会後援

すべてのプログラムを **Web 配信の形式** で開催いたします。現地での開催は行いません。スライドセミナーは最大 3 コースまで受講できます。病理診断講習会およびスライドセミナーのうち 4 つ（今年から開始される上部消化管、乳腺、肝、膵）のハンドアウトは、受講者が電子ファイル (pdf) をダウンロードする形式に変更します。詳細は IAP 日本支部 ホームページ <http://www.iapjapan.org> を参照下さい。

【参加方法】オンライン登録 (<http://www.iapjapan.org>)、クレジットカード決済。病理診断講習会、スライドセミナーともに、事前の申し込みと受講料の支払が完了している必要があります。これ以外の申込み・支払いは一切受け付けませんのでご注意ください。

【受講申し込み期間】2020年8月17日から2020年9月7日

【配信期間】2020年11月14日から2020年11月23日

【プログラム】詳細は <https://www.iapjapan.org/> を参照下さい

● 病理診断講習会

主題 「乳腺の病理 最近の話題」

1. 【緒言】「乳癌組織分類の要点」 森谷卓也（川崎医科大学病理学）
2. 【教育講演 1】「乳腺疾患鑑別の要点：免疫組織化学を含めて」 小塚祐司（三重大学付属病院病理診断科）
3. 【教育講演 2】「乳癌の多様性：治療をふまえた分子生物学的アプローチ」 鹿股直樹（聖路加国際病院病理診断科）

● スライドセミナー

*New! 食道胃接合部・胃・十二指腸の病理 河内洋（がん研究会 有明病院 臨床病理センター 病理部）

*New! 乳腺の病理 森谷鈴子（滋賀医科大学 附属病院 病理部）

*New! 肝の病理（非腫瘍および腫瘍）原田憲一（金沢大学 医薬保健研究域 医学系 人体病理）

*New! 膵の病理（非腫瘍および腫瘍）能登原憲司（倉敷中央病院 病理診断科）

○子宮腫瘍 三上芳喜（熊本大学 医学部 附属病院 病理診断科）

○腎腫瘍 黒田直人（甲南医療センター 病理診断科）

#皮膚の腫瘍性疾患 新井栄一（埼玉医科大学 国際医療センター 病理診断科）

#骨髄病理の基礎と診断 伊藤雅文（名古屋第一赤十字病院 病理部）

*印は新規コース、#印は今回で終了するコース

【資格更新単位】病理診断講習会では教育講演 1, 2 が各 1 単位で合計 2 単位、スライドセミナーでは各コースが 2 単位で最大 4 単位までの取得が可能です（スライドセミナーを 3 コース受講しても付与される資格更新単位は合計 4 単位です）。

【受講料 (1 コース)】

	一般会員	ジュニア会員	シニア会員	非会員
病理診断講習会	5,000 円	3,000 円	無料	8,000 円
スライドセミナー (1 コース)	10,000 円	5,000 円	10,000 円	15,000 円

会員料金の適応：2020年8月1日時点で入会手続きが完了している方。

【問い合わせ先】

IAP 日本支部 教育委員長 清川貴子（東京慈恵会医科大学病理学講座）

Email: iap-japan@jikei.ac.jp（事務担当 桜井）

Tel: 03-5400-0700 内線 2231

IAP 日本支部東京事務局 松原 修, 大谷 茉莉

E-mail: tokyo.office@iapjapan.org

Tel: 050-5274-8683

【IAP日本支部入会について】

会員には、病理学教育セミナーの会員割引（上記をご参照ください）、USCAP雑誌の会員価格での定期購読などの特典があります。詳細および入会申し込みは IAP 日本支部のホームページ <http://www.iapjapan.org> をご覧ください。